

令和元年10月19日（土）
第3回 「ほっと・ぼらんていあ」の報告

今回のテーマは「学習会と子ども食堂」～弘前市を担う未来の子どもたちに、夢と希望を！～と題して、ゲストに、弘前こども応援隊 NPO法人マザーフィールド 工藤 真（くどうまこと）さんをお迎えして、マザーフィールドの活動紹介と子ども食堂についてのお話しをしていただきました。

弘前子ども応援隊 NPO法人マザーフィールドは、弘前商工会議所会員有志が運営する、弘前市内のひとり親家庭の子育てと仕事の両立を支援している団体です。

マザーフィールドには、小学生から高校生までの子どもたちが登録しています。登録している子どもたちの人数がまだまだ少ないと話されておりました。

活動は、基本的には毎週木曜日、ヒロロ3階の健康ホールや多世代交流室などで行われているそうです。弘前市食生活改善推進員有志や、(株)栄研さんによる食事の提供もあり、みんなで楽しい食事会から始まるとのことでした。

食事を食べ終わると、弘大生のボランティアの学生さんたちとの勉強会が行われます。ボランティアの学生さんたちも決して人数が多いとは言えないそうですが、少ない人数の中で協力し合いながら子どもたちに勉強を教えていると話されていました。子どもたちは勉強だけではなく、その日あった出来事や、悩みを相談して、ボランティアの学生さんたちと交流を深めているそうです。

マザーフィールドを利用している子どもたちや保護者の方、ボランティアの学生さんたちからは、「みんなで食べるご飯が美味しい。」「勉強だけじゃなくたくさん遊べる。」「細かく勉強を教えてくれて助かる。」「子どもたちと接して楽しい。」などの声がマザーフィールドに届いているようで、双方にとってもプラスになっているのだと感じました。

「ほっと・ぼらんていあ」に参加したみなさんからも、「マザーフィールドの工藤真さんの熱い思いが伝わってきました。」「子ども食堂についてとても参考になりました。」と感想をいただきました。

「ほっと・ぼらんていあ」は、みなさんのボランティア活動に少しでも役立てていただけるように、これからも2か月に1回程開催していきます。次回は、12月7日（土）13：30～15：30まで、テーマは「昔の歌あそび（お手玉・まりつき・竹がえし）」～昔の歌あそびを懐かしんでみませんか？～と題して、『新岡みつゑさん』をゲストにお迎えしてお話しをしていただきます。ボランティアに興味のある方に限らずに、みなさんのご参加をお待ちしています。